

あの日の志津川湾には何がいた??

目には見えない魚の痕跡

『環境DNA』を追う

実は海にはDNAが
たくさん残っている

日時

2021 10月21日(木)

19:00 - 20:30 [18:30開場]

会場

南三陸町自然環境活用センター

[〒986-0781 宮城県本吉郡南三陸町戸倉沖田69番地2 電話：0226-25-9703]

(通称ネイチャーセンター、戸倉公民館 2F)

参加費

入場無料

ライブ配信あり

<https://youtu.be/lhRp46CUZRU>



『環境DNA法』は、
水中に放出された魚のDNA
を解析し、そこにいた種類を
調べる最先端の調査手法です。
本講座は、昨年度に自然環境
活用センターで行った
環境DNA調査の結果と、現
在広まりつつある市民調査を
ご紹介します。

南三陸ネイチャーセンター友の会

お問合せ先：南三陸ネイチャーセンター友の会
0226-46-2037

公式サイト：<https://m-inuwashi.jp>

主催：南三陸ネイチャーセンター友の会

協力：南三陸町自然環境活用センター

令和3年度おらほのまちづくり支援事業補助金 採択事業

講師

南三陸町自然環境活用センター
任期付き研究員

鈴木 将太

北海道札幌市出身。

大学時代は、アイナメ属雑種の遺伝様式や繁殖生態、環境DNA法を用いた分布調査を行った。現在は、潜水調査や遺伝子実験、環境DNA技術を用いて、志津川湾の生物相調査や生態研究に取り組んでいる。

